

平成31年1月7日

国際港湾交流協力会(JOPCA)

第2回カンボジアセミナー実施報告書

1. セミナーの概要

- ・セミナーの名称 : Cambodia-Japan Port Seminar 2018
- ・実施日時 : 2018年12月18日 09:00~16:30
12月20日 08:30~12:00
- ・実施場所等 : 12月18日 Phnom Penh Hotel
12月20日 Sihanoukville Autonomous Port

2. セミナープログラム

セミナープログラムは別紙参照

3. カンボジアセミナーの実施体制

主催 国際港湾交流協力会 (JOPCA)
カンボジア公共事業運輸省 (MPWT)

協賛 (一財) 国際臨海開発研究センター(OCDI)
(一財) 港湾空港総合技術センター(SCOPE)

後援 国土交通省
JICA カンボジア事務所

4. 参加者数

プノンペンセミナー カンボジア側 68名 JICA 招聘者 18名 JOPCA 会員 28名
大使館・JICA・埋浚協会等日本側関係者 34名 合計 148名

シハヌークビルセミナー カンボジア側 34名 薮中専門家 JOPCA 会員 29名
合計 64名

5. セミナー概要

(1) プノンペンセミナー (12月18日終日)

1) オープニングセミナー

- ・12月18日(火)、午前9時よりセミナーを開始、冒頭のオープニングセレモニーでは、両国国歌の斉奏のあと、池田龍彦 JOPCA 会長の開会挨拶、菅野祐一 JICA カンボジア事務所長の来賓挨拶、別所健一在カンボジア日本大使館公使の来賓挨拶、最後に共催者

でもある Nhem Savong 公共事業運輸省(MPWT)港湾航路海事総局次長の歓迎挨拶があった。

- ・そして、角野隆元 JICA 専門家より 4 年前の第 1 回カンボジアセミナーで設立された JICA 研修員同窓会の会長として日本側は池田龍彦 JOPCA 会長（再任）、カンボジア側は Chan Dara MPWT 港湾航路海事総局長（新任）が指名されたとの報告があった。
- ・また、協賛団体である（一財）港湾空港総合技術センター(SCOPE)中尾理事長より、同財団が発刊した「港湾工事施工ハンドブック（英文版）」の贈呈式が行われた。
- ・その後、参加者全員による集合写真の撮影を行い、オープニングセレモニーを終了してコーヒースタイルに入った。

2) 港湾セミナー第 I 部

- ・午前 10 時より港湾セミナー第 I 部が開始された。講師は西島浩之 JOPCA 企画委員長、カンボジアの Phanin Hei PPAP 副総裁、そして穴戸達行 OCDI 首席研究員の 3 名であった。各 30 分の英語による講演で、それぞれ日本の港湾管理制度、プノンペン港の現状と将来計画、港湾関係諸手続きと港湾 EDI について発表があった。その後、第 I 部の講演に関する質疑応答が活発に行われた。

3) 港湾セミナー第 II 部

- ・昼食の後、午後 1 時半よりセミナー II 部が開催された。講師は川崎俊正 JICA 専門家、笹健二在東ティモール JICA 専門家、竹信正寛国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）主任研究官、岩波光保東工大教授の 4 名であった。各 30 分の英語による講演で、それぞれカンボジアの港湾セクターにおける日本の協力について、カンボジアと東ティモールを事例とした二国間の技術交流について、日本の技術基準の重要性と最近の技術課題について、そして港湾施設の維持管理についての発表があった。その後、第 II 部の講演に関する質疑応答が行われ、特に日本の技術基準や維持管理について質問が多かった。

4) クロージングセレモニー

- ・参加したカンボジア側受講者に対し、修了証書の授与式が開催され、池田 JOPCA 会長から受講者一人ひとりに修了証書が手交された。
- ・藤田佳久 JOPCA 企画委員より、今回のセミナーの成果と次回の再会を約束して閉会の挨拶があり、午後 4 時半セミナーが無事終了した。

(2) シハヌークビルセミナー（12 月 20 日午前）

1) オープニングセレモニー

- ・シハヌークビル港湾公社の会議室において、午前 8 時半よりセミナーを開始、冒頭のオープニングセレモニーでは、両国国歌の斉奏のあと、池田龍彦 JOPCA 会長の開会挨拶、そして Chhun Hong シハヌークビル港湾公社副総裁の歓迎挨拶があった。
- ・プノンペンと同様に、角野隆元 JICA 専門家より 4 年前の第 1 回カンボジアセミナー

で設立された JICA 研修員同窓会の会長として日本側は池田龍彦 JOPCA 会長(再任)、カンボジア側は Chan Dara MPWT 港湾航路海事総局長(新任)が指名されたとの報告があった。

- ・また、協賛団体である(一財)港湾空港総合技術センター(SCOPE)中尾理事長より、同財団が発刊した「港湾工事施工ハンドブック(英文版)」の贈呈式が行われた。
- ・その後、参加者全員による集合写真の撮影を行い、オープニングセレモニーを終了した。

2) 港湾セミナー

- ・講師は筧隆夫若築建設顧問、薮中克一 JICA 専門家、Chey Sokunthea シハヌークビル港湾公社マーケティング部長、池田哲郎 SCOPE 研究主幹・田村憲作 SCOPE 研究主幹(連名)の計 5 名であった。各 30 分の英語による講演で、それぞれ日本の港湾整備・管理運営について、シハヌークビル港における日本の協力について、シハヌークビル港の現状と将来計画について、そして SCOPE の 2 人の講師からは名古屋港飛島コンテナターミナルの自動化の紹介と日本のクルーズ政策についての発表があった。
- ・シハヌークビル港の紹介ビデオが追加されたため、質疑応答の時間がなくなり、参加者 1 名からの質問と回答だけになった。

3) クロージングセレモニー

- ・参加したシハヌークビル港湾公社の受講者に対し、修了証書の授与式が行われ、池田 JOPCA 会長、Chhun Hong 副総裁から受講者一人ひとりに修了証書が手交された。
- ・岸本高彦 JOPCA 企画委員より、今回のセミナーの成果と次回の再会を約束して閉会の挨拶があり、午前 12 時セミナーが無事終了した。

(参考資料)

- ・カンボジアセミナープログラム(英文版)
プノンペンセミナー、シハヌークビルセミナー(英文版)
- ・第 2 回カンボジアセミナー写真集